



うきしま きよみ
浮島 清己

昭和21年11月26日生

水俣市幸町在住

■ 略歴

昭和21年（1946年）上天草市大矢野町に生まれる。昭和24年、3歳の頃、水俣に家族で移住。父は農業をはじめ、主に花の栽培や販売をしていたため花に囲まれた幼少時代を過ごす。

その後 地元の中学校からチッソ工学校（チッソ附属の養成学校）へ進学。

卒業後8年間はチッソ社員として従事。退職後は、家業の生花店を営むとともに、環境創造みなまた推進事業（※平成2年度～平成10年度）の諸活動に参加。

■ 主な活動内容

- ・火のまつり実行委員長（2000年度～2015年度）
- ・寄り会みなまた発足（1991年）「水の経路図」「地域資源マップ」作成
「菜の花事業」の推進

■ 主な伝える内容

幼少期から水俣で過ごし、卒業後は、あこがれていたチッソ水俣工場の社員となって、8年間勤務した。その後は、家業を継ぐためチッソを退職し、一市民として過ごしてきた。水俣病発生当時から現在に至るまでの水俣の街やチッソ工場の様子を見続けてきて、自分に何ができるのか自問自答を繰り返し、患者さん方に寄り添い協働による「もやい直し」運動に取り組むことになった。なぜ「もやい直し」が必要だったのか、水俣における地域再生の取り組みがどれほど重要でまた、困難なものであったかを伝えたい。

- ・一市民として患者さんの差別偏見や大変つらい思いをしている姿や心情を思い、あの時は、本当にごめんなさい。という気持ちでいっぱいでした。